



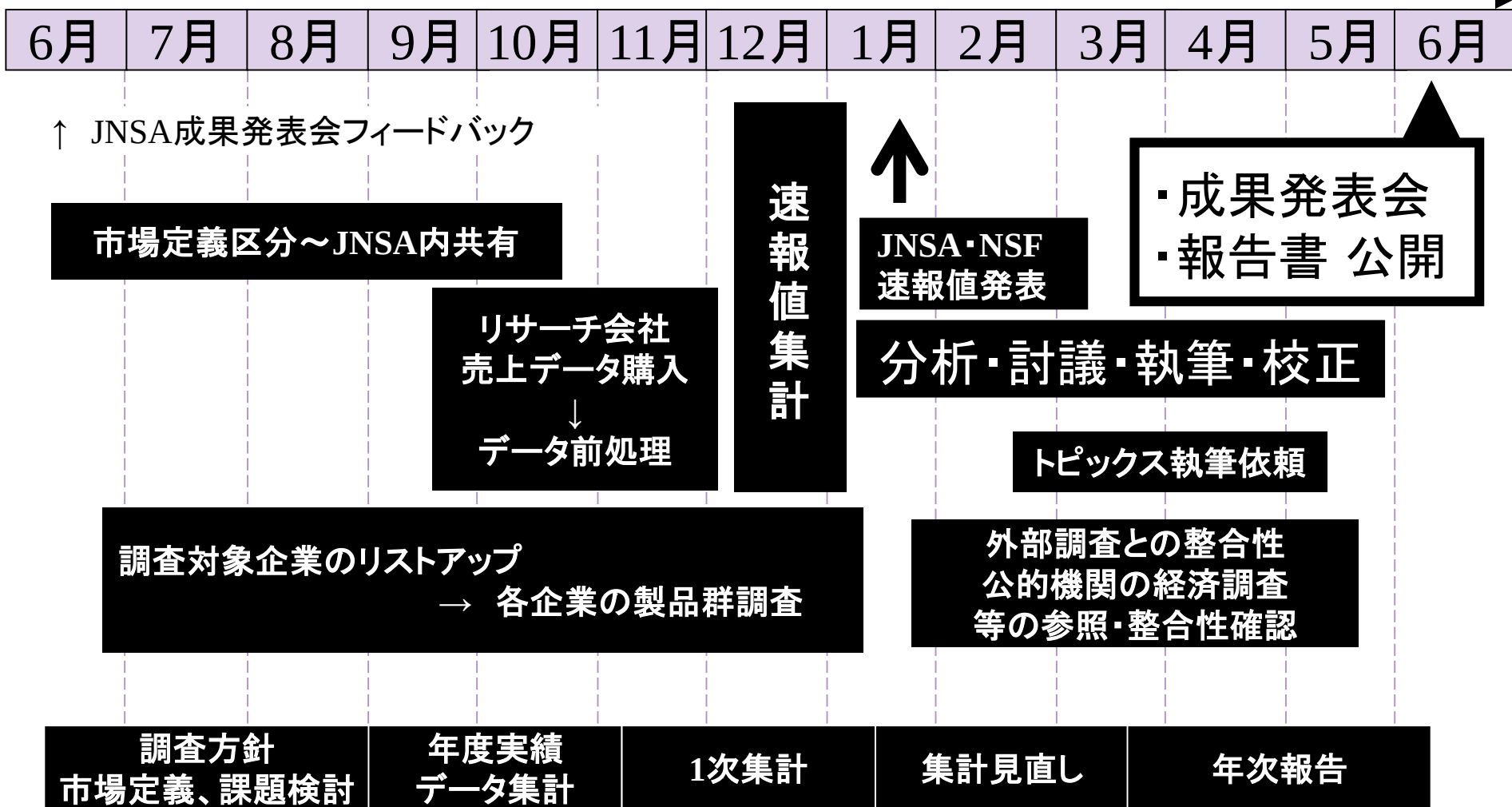
国内情報セキュリティ市場調査 2016年度版の説明

2017年 6月12日 成果発表用

JNSA調査研究部会 セキュリティ市場調査WG

WGリーダー 木城 武康(株式会社日立システムズ)

■年間活動スケジュール（年間の流れ）■ 毎月1回WG開催



特定非営利活動法人日本ネットワークセキュリティ協会 調査研究部会 セキュリティ市場調査ワーキンググループ

■ワーキンググループリーダー

(敬称略)

木城 武康 株式会社日立システムズ

■ワーキンググループメンバ(2017年5月31日現在)

及び、集計作業やデータ分析・執筆に携った方々 <所属組織名五十音順>

勝見 勉	アドバイザー
菅野 泰彦	アルプスシステムインテグレーション株式会社
福岡 かよ子	株式会社インテック
大塩 暁子	SCSK株式会社
瀬戸口 広樹	サイエンスパーク株式会社
奥井 康文	大日本印刷株式会社
玉川 博之	株式会社VSN
増田 聖一	三井物産セキュアディレクション株式会社
許 弘智	株式会社メトロ
蜂巢 悌史	サブスクライバー
森田 翔	サブスクライバー

JNSA会員の
会員による
会員のための
業界市場調査

■トピック執筆協力者(市場調査WG外協力)<改正個人情報保護法と情報セキュリティの果たすべき役割の変化>

松本 泰 セコム株式会社 IS研究所

報告書の概要



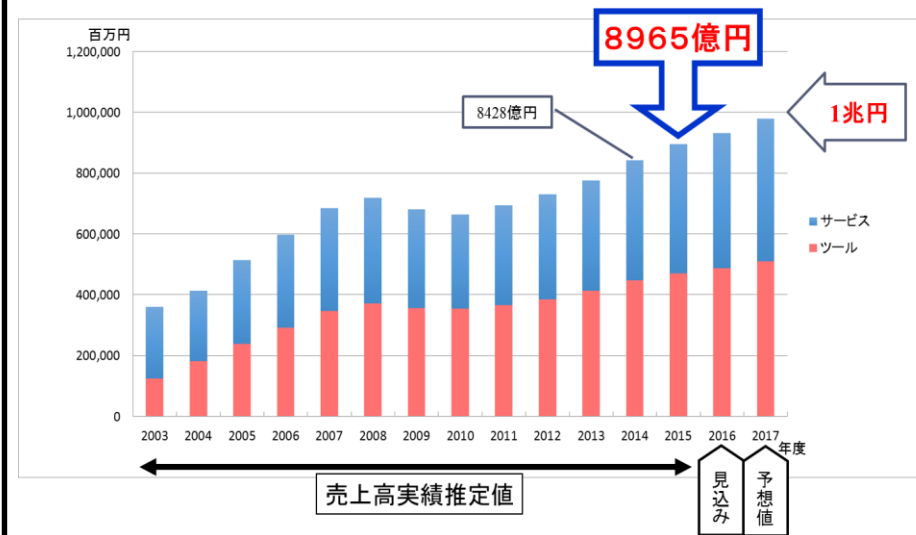
はじめに	5
【第一部 情報セキュリティ市場調査結果】	7
第1章 国内情報セキュリティ市場の実態概要	7
第2章 国内情報セキュリティ市場調査結果の詳細とその分析	10
2.1. 国内情報セキュリティツール市場の分析	10
2.1.1. 情報セキュリティツール市場の全体概要	10
2.1.2. 情報セキュリティツール市場のカテゴリ別分析	13
2.1.2.1. 統合型アプライアンス市場	13
2.1.2.2. ネットワーク脅威対策製品市場	15
2.1.2.3. コンテンツセキュリティ対策製品市場	18
2.1.2.4. アイデンティティ・アクセス管理製品市場	22
2.1.2.5. システムセキュリティ管理製品市場	25
2.1.2.6. 暗号化製品市場	27
2.2. 国内情報セキュリティサービス市場の分析	29
2.2.1. 情報セキュリティサービス市場の全体概要	29
2.2.2. 情報セキュリティサービス市場のカテゴリ別分析	32
2.2.2.1. 情報セキュリティコンサルティング市場	32
2.2.2.2. セキュアシステム構築サービス市場	35
2.2.2.3. セキュリティ運用・管理サービス市場	37
2.2.2.4. 情報セキュリティ教育市場	41
2.2.2.5. 情報セキュリティ保険市場	44
第3章 情報セキュリティにおける新しい課題と動き	46
3.1. 2016年度におけるネットワークの脅威の動向	46
3.2. セキュリティ関連トピック	48
3.3. 改正個人情報保護法と情報セキュリティの果たすべき役割の変化	48
3.3.1. 改正個人情報保護法と情報セキュリティの関係	48
3.3.2.1. 個人情報の暗号化に関するこれまでの議論	49
3.3.2.2. 高度に暗号化された個人データは保護された状態とみなすべき	50
3.3.2.3. 暗号化鍵破棄による個人データ削除を制度的にも明確にするべき	50
3.3.2.4. 暗号化された個人データのアクセス制御の考え方を明確にするべき	51
3.3.2.5. 業界を横断する技術ガイドラインを作成する体制が検討されるべき	52
3.3.3. まとめ	53

【第二部 情報セキュリティ市場調査の事業概要と結果に関する考察結果】	54
第4章 調査の概要	54
4.1. 調査対象期間	54
4.2. 調査方法ならびに調査に使用したデータおよび情報	54
4.3. データポイントの定義	54
4.4. 市場規模の予測値の算定方法	55
第5章 情報セキュリティ市場の分類および定義	55
5.1. 情報セキュリティツール・サービスの市場分類定義表・用語解説	56
5.2. 情報セキュリティツールの市場分類定義表	57
5.3. 情報セキュリティサービスの市場分類定義表	62
第6章 情報セキュリティ市場参入事業者の業態と産業構造	65
6.1. 情報セキュリティ市場参入事業者の業態区分	65
6.2. 業態区分と市場区分における分布	68
第7章 情報セキュリティ市場および産業の状況と、変化をもたらす要因	70
7.1. マクロ経済指標と企業経営環境等に関する統計データ	70
7.2. 企業・組織のIT支出ビヘイビア	73
7.3. 情報セキュリティに関わる外部環境変化	79
7.4. 産業としての課題	80
おわりに	82

報告書の概要（お忙しい人用！） JNSA

はじめに	5
【第一部 情報セキュリティ市場調査結果】	7
第1章 国内情報セキュリティ市場の実態概要	7
第2章 国内情報セキュリティ市場調査結果の詳細とその分析	10
2.1. 国内情報セキュリティツール市場の分析	10
2.1.1. 情報セキュリティツール市場の全体概要	10
2.1.2. 情報セキュリティツール市場のカテゴリ別分析	13
2.1.2.1. 統合型アプライアンス市場	13
2.1.2.2. ネットワーク脅威対策製品市場	15
2.1.2.3. コンテンツセキュリティ対策製品市場	18
2.1.2.4. アイデンティティ・アクセス管理製品市場	22
2.1.2.5. システムセキュリティ管理製品市場	25
2.1.2.6. 暗号化製品市場	27
2.2. 国内情報セキュリティサービス市場の分析	29
2.2.1. 情報セキュリティサービス市場の全体概要	29
2.2.2. 情報セキュリティサービス市場のカテゴリ別分析	32
2.2.2.1. 情報セキュリティコンサルテーション市場	32
2.2.2.2. セキュアシステム構築サービス市場	35
2.2.2.3. セキュリティ運用・管理サービス市場	37
2.2.2.4. 情報セキュリティ教育市場	41
2.2.2.5. 情報セキュリティ保険市場	44
第3章 情報セキュリティにおける新しい課題と動き	46
3.1. 2016年度におけるネットワークの脅威の動向	46
3.2. セキュリティ関連トピック	48
3.3. 改正個人情報保護法と情報セキュリティの果たすべき役割の変化	48
3.3.1. 改正個人情報保護法と情報セキュリティの関係	48
3.3.2.1. 個人情報の暗号化に関するこれまでの議論	49
3.3.2.2. 高度に暗号化された個人データは保護された状態とみなすべき	50
3.3.2.3. 暗号化鍵破棄による個人データ削除を制度的にも明確にするべき	50
3.3.2.4. 暗号化された個人データのアクセス制御の考え方を明確にするべき	51
3.3.2.5. 業界を横断する技術ガイドラインを作成する体制が検討されるべき	52
3.3.3. まとめ	53

Executive Summary



年度別売上高推計値	2014年度			2015年度			2016年度			2017年度		
セキリティツール	売上実績推定値			売上実績推定値			売上高見込推定値			売上高予測値		
	金額	構成比	成長率	金額	構成比	成長率	金額	構成比	成長率	金額	構成比	成長率
統合型アプライアンス	23,622	5.3%	4.9%	23,280	4.9%	-1.4%	23,746	4.9%	2.0%	24,933	4.9%	5.0%
ネットワーク脅威対策製品	61,776	13.8%	64.382	13.7%	4.2%	66,958	13.7%	4.0%	70,305	13.8%	5.0%	
コンテンツセキュリティ対策製品	171,192	38.1%	176,689	37.6%	3.2%	180,195	36.9%	2.0%	186,214	36.5%	3.3%	
アイデンティティ・アクセス管理製品	77,220	17.2%	84,323	17.9%	9.2%	88,539	18.1%	5.0%	92,966	18.2%	5.0%	
システムセキュリティ管理製品	66,288	14.8%	70,178	14.9%	5.9%	73,687	15.1%	5.0%	77,371	15.2%	5.0%	
暗号化製品	48,844	10.9%	51,668	11.0%	5.8%	54,789	11.2%	6.0%	58,076	11.4%	6.0%	
セキリティツール市場合計	448,941	53.3%	470,540	52.5%	4.8%	487,913	52.3%	3.7%	509,966	52.1%	4.5%	

年度別売上高推計値	2014年度			2015年度			2016年度			2017年度		
セキリティサービス	売上実績推定値			売上実績推定値			売上高見込推定値			売上高予測値		
	金額	構成比	成長率	金額	構成比	成長率	金額	構成比	成長率	金額	構成比	成長率
情報セキュリティコンサルテーション	71,452	18.1%	80,611	18.9%	12.8%	83,030	18.7%	3.0%	87,181	18.6%	5.0%	
セキュアシステム構築サービス	156,356	39.7%	132,280	31.1%	-15.4%	138,894	31.2%	5.0%	145,838	31.1%	5.0%	
セキュリティ運用・管理サービス	125,248	31.8%	174,247	40.9%	39.1%	181,217	40.7%	4.0%	190,278	40.5%	5.0%	
情報セキュリティ教育	30,365	7.7%	27,052	6.4%	-10.9%	28,094	6.3%	3.9%	30,804	6.6%	9.6%	
情報セキュリティ保険	10,479	2.7%	11,777	2.8%	12.4%	13,543	3.0%	15.0%	15,575	3.3%	15.0%	
セキリティサービス市場合計	393,901	46.7%	425,967	47.5%	8.1%	444,778	47.7%	4.4%	469,677	47.9%	5.6%	

セキリティツール+サービス	842,841	100%	896,507	100%	6.4%	932,692	100%	4.0%	979,543	100%	5.0%
---------------	---------	------	---------	------	------	---------	------	------	---------	------	------

前半が市場セグメント別分析

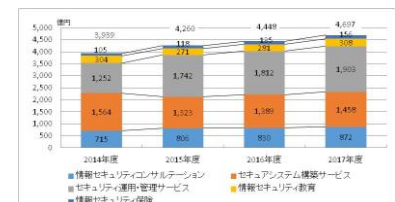
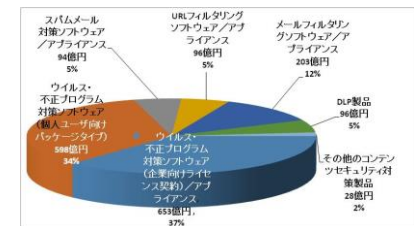
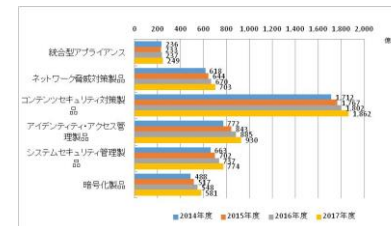
はじめに	5
【第一部 情報セキュリティ市場調査結果】	7
第1章 国内情報セキュリティ市場の実態概要	7
第2章 国内情報セキュリティ市場調査結果の詳細とその分析	10
2.1. 国内情報セキュリティツール市場の分析	10
2.1.1. 情報セキュリティツール市場の全体概要	10
2.1.2. 情報セキュリティツール市場のカテゴリ別分析	13
2.1.2.1. 統合型アプライアンス市場	13
2.1.2.2. ネットワーク脅威対策製品市場	15
2.1.2.3. コンテンツセキュリティ対策製品市場	18
2.1.2.4. アイデンティティ・アクセス管理製品市場	22
2.1.2.5. システムセキュリティ管理製品市場	25
2.1.2.6. 暗号化製品市場	27
2.2. 国内情報セキュリティサービス市場の分析	29
2.2.1. 情報セキュリティサービス市場の全体概要	29
2.2.2. 情報セキュリティサービス市場のカテゴリ別分析	32
2.2.2.1. 情報セキュリティコンサルテーション市場	32
2.2.2.2. セキュアシステム構築サービス市場	35
2.2.2.3. セキュリティ運用・管理サービス市場	37
2.2.2.4. 情報セキュリティ教育市場	41
2.2.2.5. 情報セキュリティ保険市場	44
第3章 情報セキュリティにおける新しい課題と動き	46
3.1. 2016年度におけるネットワークの脅威の動向	46
3.2. セキュリティ関連トピック	48
3.3. 改正個人情報保護法と情報セキュリティの果たすべき役割の変化	48
3.3.1. 改正個人情報保護法と情報セキュリティの関係	48
3.3.2.1. 個人情報の暗号化に関するこれまでの議論	49
3.3.2.2. 高度に暗号化された個人データは保護された状態とみなすべき	50
3.3.2.3. 暗号化鍵破棄による個人データ削除を制度的にも明確にするべき	50
3.3.2.4. 暗号化された個人データのアクセス制御の考え方を明確にするべき	51
3.3.2.5. 業界を横断する技術ガイドラインを作成する体制が検討されるべき	52
3.3.3. まとめ	53

今年度の市場調査・分析結果の報告

Executive Summary

ツール市場

サービス市場



第3章は 年間トピックス

はじめに	5
【第一部 情報セキュリティ市場調査結果】	7
第1章 国内情報セキュリティ市場の実態概要	7
第2章 国内情報セキュリティ市場調査結果の詳細とその分析	10
2.1. 国内情報セキュリティツール市場の分析	10
2.1.1. 情報セキュリティツール市場の全体概要	10
2.1.2. 情報セキュリティツール市場のカテゴリ別分析	13
2.1.2.1. 統合型アプライアンス市場	13
2.1.2.2. ネットワーク脅威対策製品市場	15
2.1.2.3. コンテンツセキュリティ対策製品市場	18
2.1.2.4. アイデンティティ・アクセス管理製品市場	22
2.1.2.5. システムセキュリティ管理製品市場	25
2.1.2.6. 暗号化製品市場	27
2.2. 国内情報セキュリティサービス市場の分析	29
2.2.1. 情報セキュリティサービス市場の全体概要	29
2.2.2. 情報セキュリティサービス市場のカテゴリ別分析	32
2.2.2.1. 情報セキュリティコンサルテーション市場	32
2.2.2.2. セキュアシステム構築サービス市場	35
2.2.2.3. セキュリティ運用・管理サービス市場	37
2.2.2.4. 情報セキュリティ教育市場	41
2.2.2.5. 情報セキュリティ保険市場	44
第3章 情報セキュリティにおける新しい課題と動き	46
3.1. 2016年度におけるネットワークの脅威の動向	46
3.2. セキュリティ関連トピック	48
3.3. 改正個人情報保護法と情報セキュリティの果たすべき役割の変化	48
3.3.1. 改正個人情報保護法と情報セキュリティの関係	48
3.3.2.1. 個人情報の暗号化に関するこれまでの議論	49
3.3.2.2. 高度に暗号化された個人データは保護された状態とみなすべき	50
3.3.2.3. 暗号化鍵破棄による個人データ削除を制度的にも明確にするべき	50
3.3.2.4. 暗号化された個人データのアクセス制御の考え方を明確にするべき	51
3.3.2.5. 業界を横断する技術ガイドラインを作成する体制が検討されるべき	52
3.3.3. まとめ	53

情報セキュリティにおける新しい課題と動き

IPA 脅威動向前年比較

**WG外 執筆依頼
年間トピックス**

第7章でマクロ経済指標と整合性 JNSA

【第二部 情報セキュリティ市場調査の事業概要と結果に関する考察結果】 54

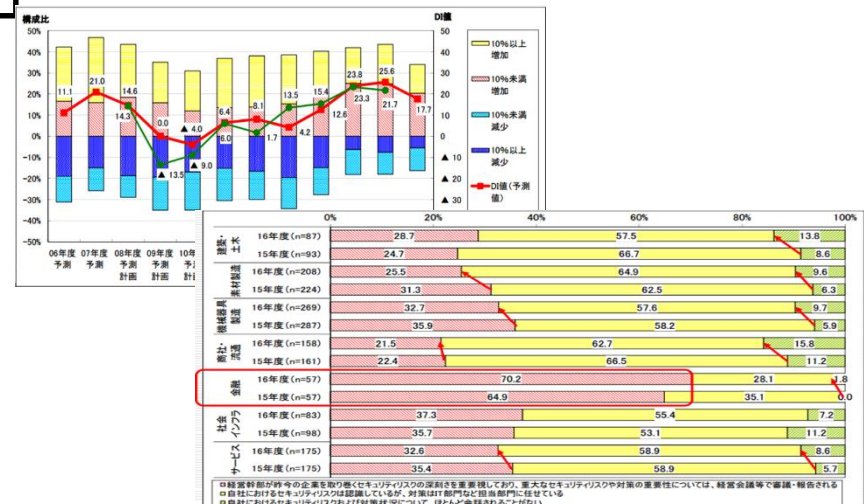
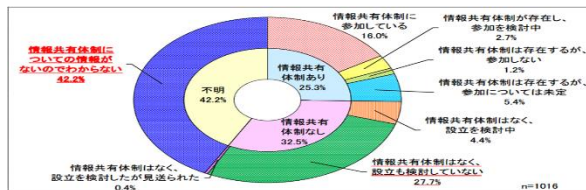
第4章 調査の概要	54
4.1. 調査対象期間	54
4.2. 調査方法ならびに調査に使用したデータおよび情報	54
4.3. データポイントの定義	54
4.4. 市場規模の予測値の算定方法	55
第5章 情報セキュリティ市場の分類および定義	55
5.1. 情報セキュリティツール・サービスの市場分類定義表・用語解説	56
5.2. 情報セキュリティツールの市場分類定義表	57
5.3. 情報セキュリティサービスの市場分類定義表	62
第6章 情報セキュリティ市場参入事業者の業態と産業構造	65
6.1. 情報セキュリティ市場参入事業者の業態区分	65
6.2. 業態区分と市場区分における分布	68
第7章 情報セキュリティ市場および産業の状況と、変化をもたらす要因	70
7.1. マクロ経済指標と企業経営環境等に関する統計データ	70
7.2. 企業・組織のIT支出ビヘイビア	73
7.3. 情報セキュリティに関わる外部環境変化	79
7.4. 産業としての課題	80
おわりに	82

調査方法・市場分類
分析手法・区分定義

調査母数の業態分析

前年度と変わっているかどうかを
注意していただくための固定的内容

経済統計と本調査報告 との整合性





WGメンバー
募集中！

 毎年6月の成果発表後に「納会」

 毎月のWGの中で、特に今年、2017年度にやること
6月～8月： 定義区分、市場セグメントの見直し
⇒見直しをした場合は、過去に遡ってデータの整合性をとる

調査方針、分析手法などの決定

 9月： 新しい集計用エクセル表の完成 ⇒ 半自動化検討

 10月： 2016年度の企業業績データの購入

 11月・12月 個社別データの集計作業

 1月 NSF(JNSAネットワークセキュリティフォーラム)2018で速報値発表



2017年 6月12日

JNSA2016年度成果発表会

国内情報セキュリティ市場調査報告書2016年度版の説明

<http://www.jnsa.org>
sec@jnsa.org

END